

取扱説明書



7 インチタッチ式液晶防水モニター

QRC-M140

デバイスを操作する前に、このマニュアルをよくお読みになり、後で参照できるように保管してください。

V1.2



株式会社文化放送開発センター

索引

1. 使用上の注意	1
2. 機能と仕様	3
3. 付属品	4
4. 各部の説明	5
5. 電源ケーブル説明	6
6. メニュー操作と機能説明	7
6.1 リモコンの機能説明	7
6.2 メニュー説明	9
6.2.1 画面	9
6.2.2 メニューの種類	11
6.2.3 音量調整	11
6.2.4 明るさ調整	12
6.2.5 モード切替	13
6.2.6 設定	15
6.2.6.1 カメラ設定	16
6.2.6.2 駐車ライン設定	18
6.2.6.3 言語設定	20
6.2.6.4 トリガー設定	21
6.2.6.5 自動スキャン設定	24
6.2.6.6 電源設定(Power ON)	25
6.2.6.7 通常モード設定(Standard)	26
6.2.6.8 システム	28
6.2.7 電源設定(Power OFF)	30

1. 使用上の注意

● 使用環境と保管

- (1) 保管温度は-30℃～+80℃、動作温度は、-20℃～+70℃、保管湿度は、Rh90%内で保管及び動作させてください。
- (2) 製品の落下と打撃を避けて下さい。
- (3) 密閉された空間、過度の振動がある場所、または、激しい振動のある場所での使用をお控え下さい。
- (4) この製品にドリル等で穴を開けたり、傷がつく行為、研磨性のある洗剤などの仕様は避けて下さい。
- (5) ケーブルを挟んだり、踏んだりする場所は避けて下さい。
- (6) モニターと壁、キャビネット或いはその他の物体との間は、最低でも 5cm 以上の間隔を開けて下さい。

● 注意事項

- (1) 電源範囲は、10V - 32V で、自動車バッテリー 12V か 24V から電源供給をお願いします。
- (2) 全てのケーブルが正確に接続されていることを確認下さい。また、妥当でない連続使用はモニターに障害を与える可能性があるため、ご使用しない場合は、電源コード向いておいてください。



注意!

1. デバイス内には、高電圧が存在しますので、絶対に、内部を開けないで下さい。
2. 運転中は、デバイスに頼り過ぎないで下さい。



お知らせ

時々ハイライトや暗点が LCD スクリーンに現れた場合は、正常な現象であり、欠陥ではございません。

モニターに故障が発生した時は、自分で修理せず、スイッチをお切りになり、当社或いは、認定販売代理店にお知らせください。

モニターは、複雑なデバイスであり、勝手な修理は機器本体に障害を与える可能性がありますので、故障した場合は、速やかに

当社或いは、販売代理店にご連絡をお願い致します。

勝手な修理で障害を与えますと、保証の対象外となりますのでご注意ください。

● メンテナンス

- (1) モニターを清掃する前には、すべてのケーブルを抜いておいてください。
- (2) 中性洗剤を使用し、少し湿らした柔らかい布でユニットを拭きます。
- (3) モニターに障害を与えないよう、シンナーやベンジンなどの刺激の強い溶剤は絶対に使用しないで下さい。

	注意	
	感電の恐れがあります	
絶対に開けないで下さい。		
注意：感電の恐れがあります 絶対に後ろのカバーを開けないで下さい。 本体にはユーザーが点検できる部品はございません。 製品の修理は、必ず専門業者に依頼ください。		



この記号は、製品の筐体内に、人への感電のリスクを構成するのに十分な大きさの絶縁されていない「危険な電圧」が存在することをユーザーに警告することを目的としています。



この記号は、アプライアンスに付属の資料に重要な操作および保守（サービス）手順が存在することをユーザーに警告することを目的としています。



この記号は、回収とリサイクルのために電気および電子製品を別々の収集施設に廃棄することをユーザーに警告することを目的としています。

注意

このマニュアルで明示的に承認されていない変更または修正を行うと、保証が無効になり、費用のかかる修理が必要になる可能性があることに注意してください。

2. 機能と仕様

- (1) 防水規格: IP66;
- (2) 4 つの HD カメラ入力と分割ビュー表示モードをサポートします。
- (3) 利用可能な複数のフォーマット: 1080P30/1080P25/720P30/720P25/PAL/NTSC;
- (4) シングル、デュアル、トリプレックス、クワッド、トレフォイル、Y スプリット、PIP ビューの表示モードが利用可能。
- (5) 各チャンネルは、水平ミラー、垂直ミラービュー表示の独立した画像調整をサポートしています
- (6) ジェスチャ検出を備えた静電容量式タッチスクリーンをサポートします。
- (7) トリガー表示画像、遅延、優先度を調整可能な 5 本のトリガーワイヤー。
- (8) 自動スキャンをサポートし、スキャンシーケンスと保持時間を編集可能にします。
- (9) 調整可能な駐車ラインをご利用いただけます。
- (10) 高/低感度を選択可能な 60 レベルの手動調整、および LCD バックライトの 2 レベルの自動調整をサポートします。
- (11) 利用可能な複数の言語
- (12) ワイド電圧入力: 10~32V; 12V または 24V の自動車用バッテリーをサポートします。
- (13) 革新的な機能を備えた、簡単な設置と便利な操作。
- (14) 屋内/屋外のセキュリティシステム、車両および船舶の監視に適用可能



特記事項

付属品の供給は、用途によって異なる場合があります。

3. 付属品

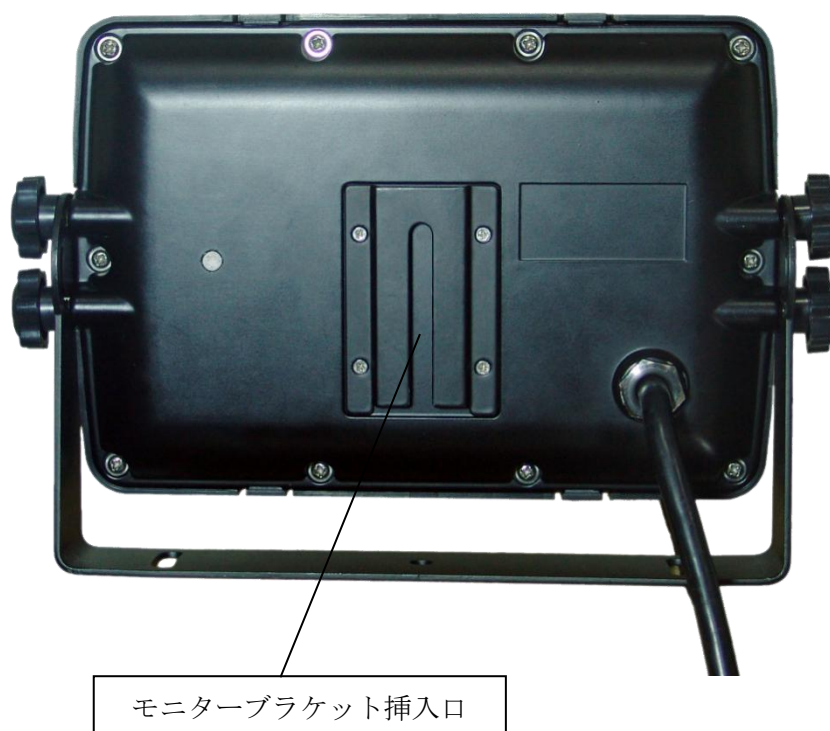
	
U ブラケット	オンダッシュモニターブラケット
	
サンシェード	リモコン
	取扱説明書
角度調整ネジ	



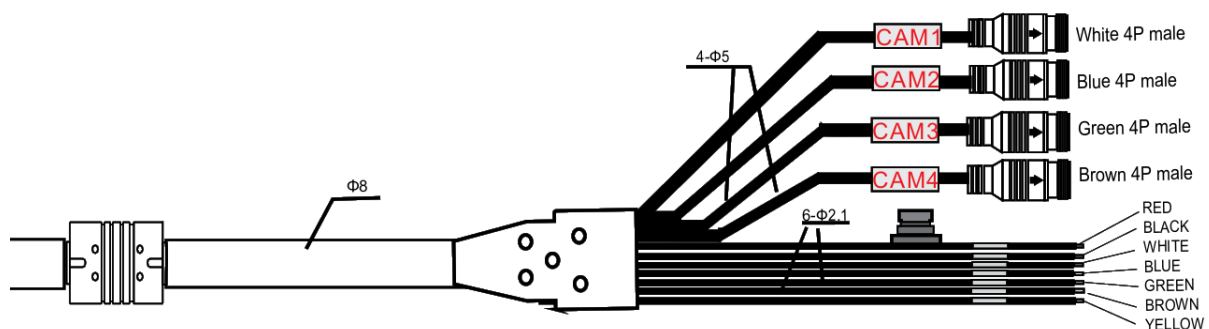
特記事項

付属品の供給は、用途によって異なる場合があります。

4. 各部の説明



5. 電源ケーブル説明



- (1) 白色の 4 ピンコネクタはカメラ 1 に接続.
- (2) 青色の 4 ピンコネクタはカメラ 2 に接続.
- (3) 緑色の 4 ピンコネクタはカメラ 3 に接続.
- (4) 茶色の 4 ピンコネクタはカメラ 4 に接続.
- (5) 赤い路線は DC: 10-32V 電源に接続
- (6) 黒い路線はアースに接続
- (7) 白色の裸線はカメラ 1 のトリガー線.
- (8) 青色の裸線はカメラ 2 のトリガー線.
- (9) 緑色の裸線はカメラ 3 のトリガー線.
- (10) 茶色の裸線はカメラ 4 のトリガー線.
- (11) 黄色の裸線はカメラスプリットの電源線

6. メニュー操作と機能説明

6.1 リモコン機能説明



Pic.6.1

● MUTE:

モニターをミュートまたはミュート解除し、音量調整メニューを開きます。

● Power:

スタンバイモード ON/OFF

● VOL ▷ :

音量調整メニューを開きます。
カーソルを拡大モードで移動します。
拡大画像の表示場所を移動します。
メニューカーソルを移動します。

● VOL ◁ :

音量調整メニューを開きます。
カーソルを拡大モードで移動します。
拡大画像の表示場所を移動します。

● UP:

自動スキャンやトリガー機能をオンにせずにチャンネルを切り替えます。

カーソルを拡大モードで移動します。

拡大画像の表示場所を移動します。

● DOWN:

自動スキャンやトリガー機能などの特別なモードをオンにせずにチャンネルを切替られます。

画面下部領域を拡大モードで移動します。

拡大画像の表示場所を移動します。

● P/N:

シングルビュー表示モードで、自動スキャンやトリガー機能などの特別なモードがオンになっていない場合に、赤いボックスを表示/非表示にして表示領域を拡大します。

● MODE:

画面下部の領域が拡大モードで表示されている場合は、そのまま拡大表示します。

● LANG:

画面下部の領域が拡大モードで表示されている場合、領域を数ヶ国語モードに切り替えます。
一部のメニューで別の言語に切り替えます。

● REST:

システムリセット

● AV:

カーソルが選択したメニューに入るか、メニュー無しでチャンネルを切り替えます。

● SEL:

カーソルが選択するメニューに入ります。

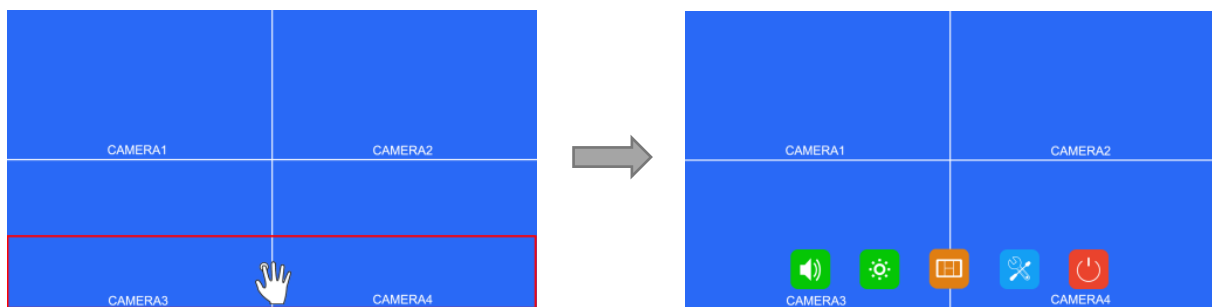
画面下部が拡大モードで表示されている場合、画像を全画面に拡大するか、拡大した画像を通常のサイズに戻します。

6.2 メニュー説明

6.2.1 画面

パネルボタンの説明:

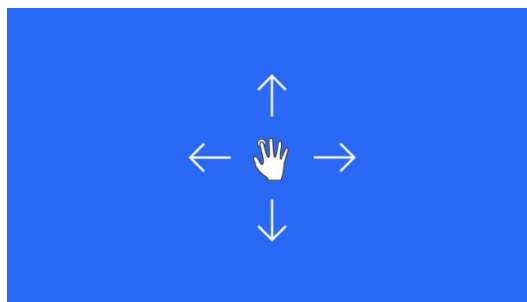
- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/ -: 音量を上げたり下げたりします。
- ▼: 表示モードを切り替えます。
- M: メニューロックを有効/無効にするには、3 秒間長尾しします。短押ししてホームメニューを開きます。



Pic. 6.2.1-1

タッチスクリーンの説明

- 左上の写真のように赤い領域をクリックしてホームメニューを開きます。

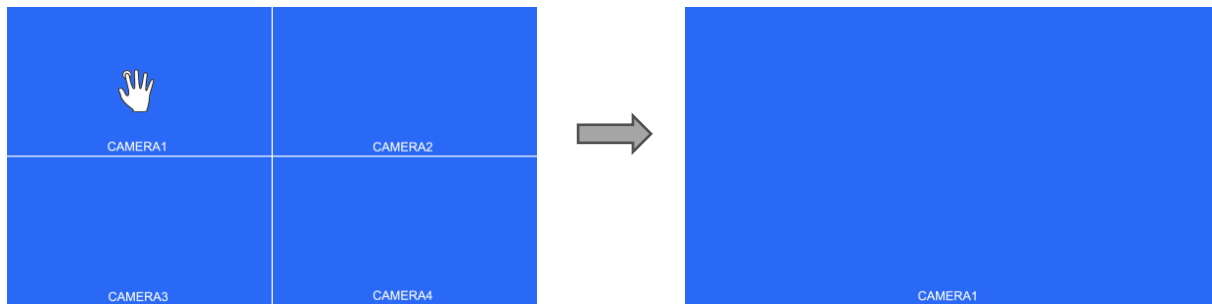


Pic. 6.2.1-2

- 自動スキャンやトリガー機能などの特別なモードがオンになっていない場合、タッチスクリーンを左右にスワイプすると、次の順序で表示モードを切り替えることができます。

CAM1->CAM2->CAM3->CAM4->DUAL->TRIPLE->TREFOIL->Y-SPLIT->H.SPLIT->QUAD->PIP1->PIP2->PIP3->SP->CAM1.

- スタンバイモードを終了/開始するための上下のスイープをサポートします。



Pic. 6.2.1-3

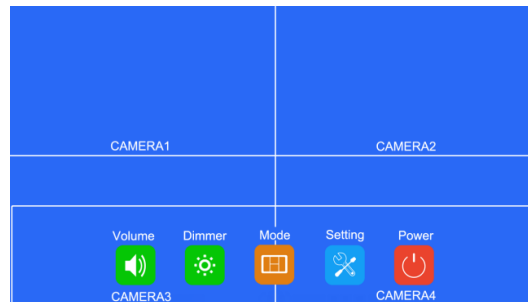
- 自動スキャンやトリガー機能などの特別なモードがオンになっておらず、分割ビュー表示 (PIP1/2/3 または SP ではない) の場合、チャンネルの 1 つをシングルタッチしてチャンネルのシングルビュー表示に入り、もう一度タッチして入力します。
- 自動スキャンやトリガー機能などの特別なモードがオンになっておらず、分割ビュー表示 (PIP1/2/3 または SP ではない) の場合、異なるチャンネルをダブルタッチすると、緑色の半透明のボックスがポップアップし、指が画面から離れると、2 つのチャンネルが位置を交換します。交換したいチャンネルが表示されていない場合は、タッチポイントを画面上部に移動すると、非表示のチャンネルが表示されます。
- 自動スキャンやトリガー機能などの特別モードがオンになっておらず、分割ビュー表示 (PIP1/2/3 または SP ではない) の場合、異なるチャンネルをダブルタッチすると、緑色の半透明のボックスがポップアップし指の 1 つが離れると画面上で、もう一方が移動すると、オーディオ出力チャンネルを選択するための緑色のボックスが赤色に変わります。音声出力したいチャンネルが表示されない場合は、タッチポイントを画面上部に移動すると、非表示のチャンネルが表示されます。
- 自動スキャンやトリガー機能などの特別なモードがオンになっていない場合、メニューがない場合、およびシングルビュー表示の場合は、画面をダブルタッチして赤いボックスをポップアップし、2 点間の距離を増減して赤いボックスを拡大/縮小します。

赤いボックス内の領域をクリックして、選択した領域を拡大します。増幅された画像に入るとき、一点ドラッグで画像を動かすことができます。拡大した画像をシングルクリックすると、通常のサイズに戻ります。赤いボックスの外側の領域をクリックして、拡大モードを終了します。

6.2.2 メニューの種類

パネルボタンの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/-: カーソルを移動します。
- ▼: 選択したメニューに入ります。
- M: メインメニューを終了します。



Pic.6.2.2

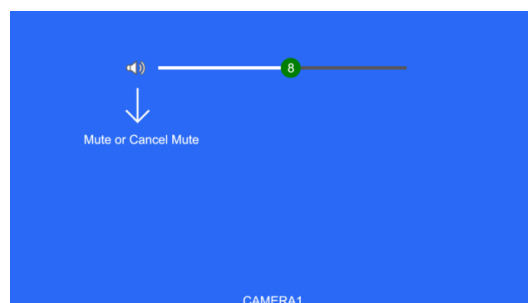
タッチスクリーンの説明:

- アイコンをクリックして、対応するメニューに入ります。白いボックスの外側の領域をクリックして、ホームメニューを終了します。

6.2.3 音量調整

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/-: 音量を上げたり下げたりします。
- ▼: ミュートモードを開始/終了します。
- M: 前のメニューに戻ります。



Pic.6.2.3

タッチスクリーンの説明:

- 音量スクロールバーをタッチしてドラッグし、音量を調整します。
- スピーカーアイコンをクリックして、ミュートモードを開始/終了します。

その他の指示:

- ミュートモードの場合、スクロールバー調整の操作でミュートが解除されます。

6.2.4 明るさ調整

タッチスクリーンの説明:

- 電源: スタンバイモードの開始/終了。
- +/ -: 明るさを増減します。
- ▼: 自動調光がオンのときに明るさのスクロールバーを切り替えます。
- M: 前のメニューに戻ります。

自動調光がオフの場合:



Pic.6.2.4-1

自動調光がオンの場合:



Pic.6.2.4-2

タッチスクリーンの説明:

- 明るさのスクロールバーをドラッグして、明るさを調整します。

その他の説明



: その日の明るさ

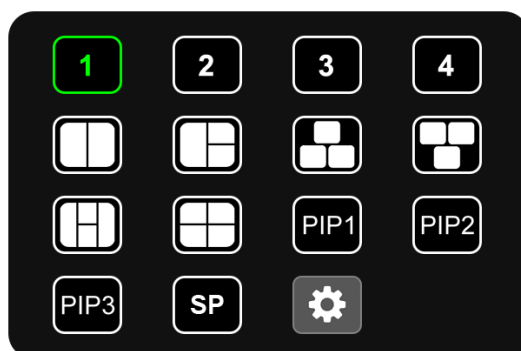


: 夜の明るさ

6.2.5 モード切替

タッチスクリーンの説明:

- 電源: スタンバイモードの開始/終了
- +/-: カーソルを移動します。
- ▼: カーソルを使用して表示モードを選択します。アイコン  が選択されている場合、分割ビュー表示モードでないときに分割設定メニューに入ります。
- M: 前のメニューに戻ります。



Pic.6.2.5

タッチ手順:

- アイコンをクリックして、対応する表示モードに切り替えます。アイコンが  選択されている場合、分割ビュー表示モードでないときに分割設定メニューに入ります。
- メニュー外側の領域をクリックして終了します。

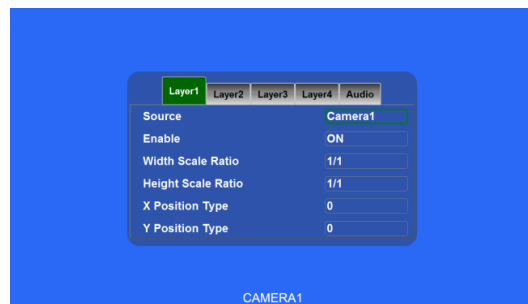
6.2.5.1 分割セットアップ

IR リモコンまたはボタンパネルを使用している場合、操作には 2 つの選択フェーズが含まれます。

- フェーズ 1<ページ選択>: メニューのレイヤー 1~4 またはオーディオアイコンを選択するフェーズ。
 - フェーズ 2<パラメーター モディファイ>: フェーズ 1 で選択したレイヤーの機能(ソースなど)を選択するフェーズ、またはオーディオのオーディオ出力チャンネルを設定するフェーズ。
- モードメニューのアイコンをクリックしてメニューに入ると、デフォルトでフェーズ 1 になります。

タッチスクリーンの説明:

- 電源: スタンバイモードの開始/終了
- +/ -: フェーズ 1: アイコンページを切り替えます。フェーズ 2: レイヤー 1~4 をセットアップするときに、レイヤーの対応する機能を変更します。オーディオを設定するときにカーソルを移動します。
- ▼: フェーズ 1: カーソルはページのパラメータ設定にスキップします。つまり、フェーズ 2 に入ります。フェーズ 2 では、カーソルはオーディオの設定時にオーディオ出力としてカメラ入力を選択します。
- M: フェーズ 1: 前のメニューに戻ります。フェーズ 2 では、カーソルがメニューページに戻ってアイコンを選択します。つまり、フェーズ 1 に戻ります。



Pic.6.2.5.1

タッチ手順:

- レイヤー 1~4/オーディオアイコンをクリックしてページを切り替えます。
- レイヤー 1~4 を設定する場合: コムボックスをクリックすると、対応する機能のオプションリストがポップアップし、オプションをクリックして機能を変更するか、リストを長押ししてオプションにドラッグします。オーディオの設定中に、対応するチャンネルのアイコンをクリックして、オーディオ出力として選択します。

IR 手順:

- LANG: システム言語の切り替え
- SEL/AV: ボタンパネルの ▼ と同じです。

機能の説明:

- ソース: レイヤーに表示されているカメラチャンネル。
- 有効: レイヤーが表示されている場合。

次の機能は、PIPI/2/3 または SP ビュー表示モードの場合にのみ使用できます。特に、SP ビュー表示モ

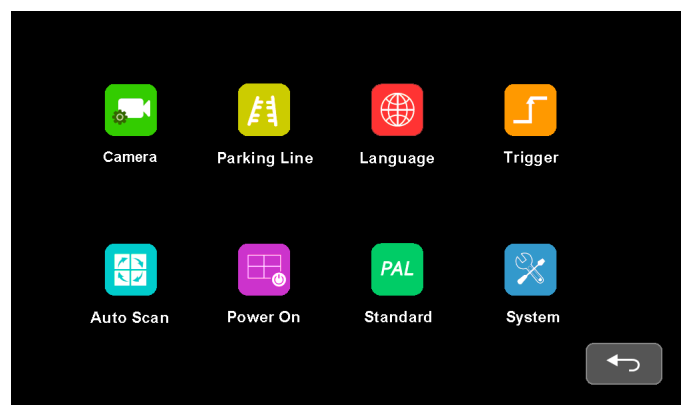
ードの場合、設定は高精度の調整のためスクロールバーを使用します。

- 幅スケール比:レイヤーの水平方向のダウンスケール比。
- 高さスケール比:レイヤーの垂直方向のダウンスケール比。
- X 位置タイプ: レイヤーの水平位置。
- Y 位置タイプ: レイヤーの垂直位置。

6.2.6 設定

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/-: カーソルを移動します。
- ▼: 選択したメニューに入ります。
- M: 前のメニューに戻ります。



Pic.6.2.6

タッチ手順:

- アイコンをクリックして、対応するメニューに入ります。

IR リモートの手順:

- LANG: システム言語を切り替えます。。

6.2.6.1 カメラ設定

IR リモコンまたはボタンパネルを使用している場合、操作には 2 つの選択フェーズが含まれます。

- フェーズ 1<チャンネル選択>: 上部のアイコンを押して設定するカメラチャンネルを選択するフェーズ。
- フェーズ 2<パラメータ変更>: チャンネル名、鏡像、カメラの電源モード、カメラの音量、および色に関連する調整を設定するフェーズ。デフォルトでフェーズ 2 である設定からメニューに入ります。

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/ -: フェーズ 1: カーソルを移動します。フェーズ 2: カーソルが選択する機能を設定します。
- ▼: フェーズ 1: フェーズ 2 に入ります。フェーズ 2 では、メニューカーソルを移動します。
- M: フェーズ 1: 前のメニューに戻ります。フェーズ 2: フェーズ 1.に戻ります。



Pic.6.2.6.1

タッチ手順:

- 上部のカメラチャンネルアイコンをクリックして、対応するチャンネルのパラメーターを表示します。
- オン/オフアイコンをクリックするか、スクロールバーをドラッグして機能を変更します。
- アイコンを  クリックして、カメラのチャンネル名を編集します。

IR 手順:

- LANG: システム言語を切り替えます。
- SEL/AV: ボタンパネルの ▼ と同じです。

機能の説明:

- カメラ名: カメラチャンネル名を選びます。
- H ミラー: 正像。
- V ミラー: 鏡像。
- 自動電源: オンの場合、カメラは表示されている場合にのみ電源が入ります。オフの場合、カメラはスタンバイモードを除いて常にオンになります。一定の場合、スタンバイモードでもカメラは常にオンになります。
- オーディオ: カメラチャンネルの音量。各カメラチャンネルには独自の音量設定があります (ミュートモードの場合、オーディオ調整の操作によりミュートがキャンセルされます)。
- 明るさ: チャンネルの明るさ。
- コントラスト: チャンネルのコントラスト。
- 色: チャンネルの色調整。
- シャープネス: チャンネルのシャープネス

6.2.6.1.1 キーボード(チャンネル名を編集するときに表示されます)

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/ -: カーソルを移動します。
- ▼: 選択したアイコンをクリックします。
- M: 保存せずにカメラメニューに戻ります。



Pic.6.2.6.1.1

タッチ手順:

- 文字アイコンをクリックして、チャンネル名を編集します。
- 文字編集ボックスをクリックすると、カーソルを移動したり、カーソルの位置を変更したりできます。

IR 手順:

- MODE: キーボードモードを切り替えます。小文字>特殊数字 1>特殊数字 2>大文字>小文字。
- SEL: ボタンパネルの ▼ と同じです。
- SYS: 文字編集ボックスでカーソル前の 1 文字を削除します。

その他の手順:

● 下記項目は特殊操作です。

(1) 大文字: 大文字と小文字を切り替えます。

(2) 123: 特殊数字 1 と 2 に切り替えます。

(3) Del: 編集ボックス前の最後の文字を削除します。

(4) ENTER: 変更したチャンネル名を保存し、カメラメニューに戻ります。

6.2.6.2 駐車ライン設定

ボタンパネルの説明:

● 電源: スタンバイモードを開始/終了する。

● +/ -: カーソルを移動します。

● ▼: 選択したメニューに入るか、オン/オフ/AUTO アイコンの状態を変更します。

● M: 前のメニューに戻ります。



Pic.6.2.6.2

タッチ手順

● ON/OFF/AUTO アイコンをクリックして、パーキングラインの表示方法を選択します: AUTO(トリガーされたときに表示)/ON(常時オン)/OFF。アイコン  をクリックして、パーキングラインキャリブレーションメニュー「キャリブレーション」に入ります。

IR 手順:

● LANG: システム言語に切り替えます。

6.2.6.2.1 キャリブレーション

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了にします。
- M: 前のメニューに戻ります。
- S: 調整支援グリッドのオン/オフを切り替えます。
- ▼: 短く押すとボタンパネル調整モードが切り替わり、左上のボタンパネル調整モードを表すアイコンが切り替わります。パーキングラインタイプを切り替えるには、3 秒間長押しします。

ボタンパネル調整モードの説明:



水平方向にズーム

- +/-: 駐車ラインを水平方向に拡大/縮小します。



垂直方向にズーム

- +/-: 駐車ラインを垂直方向に拡大/縮小します。



水平に移動する。

- +/-: 駐車ラインが左右に移動します。



垂直に移動する。

- +/-: 駐車ラインが上下に移動します。



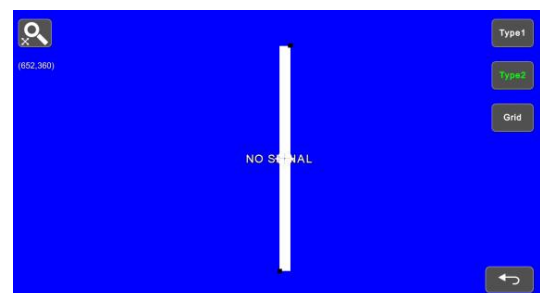
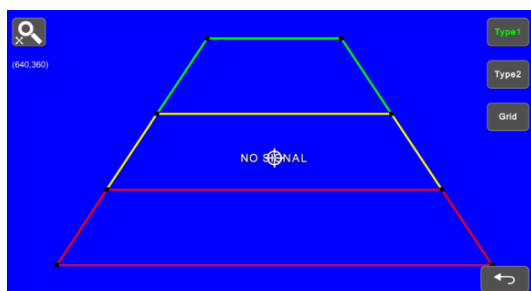
すべてをズーム

- +/-: 駐車ライン全体を拡大/縮小する。



駐車ラインリセット

- +/-: リセット



Pic.6.2.6.2.1

IR 手順:

- MODE: 駐車ライン全体を拡大します。
- LANG: 駐車ライン全体を縮小します。
- SEL: 調整支援グリッドのオン/オフを切り替えます。

- P/N: 現在のフォーカスを切り替えます。
- SYS: デフォルトの設定を再開します。
- AV: 駐車ラインの種類を切り替えます。

タッチの手順:

- パーキングラインの黒い点をドラッグして、形状を調整します。黒い点以外の領域をドラッグして、駐車ライン全体を移動させます。
- ダブルタッチを使用して、駐車ライン全体を拡大または縮小します。
- 左上のアイコンをタップすると、リセットアイコンがポップアップし、それをタップしてデフォルトの設定を再開します。右上の TYPE1/2 アイコンをタップして、駐車ラインのタイプを切り替えます。グリッドアイコンをタップして、調整支援グリッドのオン/オフを切り替えます。

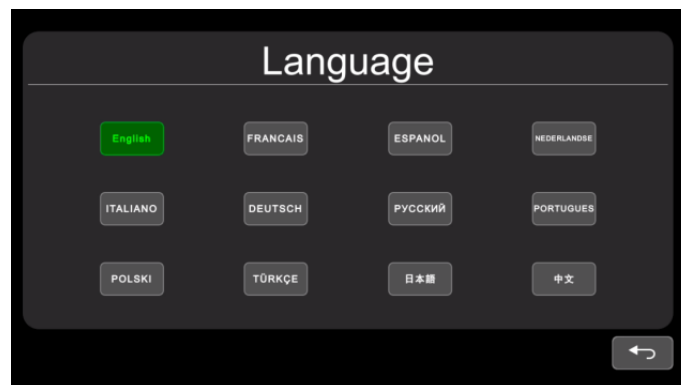
その他の説明:

- 左上に現在のフォーカスした座標が表示されます。
- アイコンは 、タッチ操作がどちらかに焦点を合わせているかを示します。

6.2.6.3 言語設定

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/ -: カーソルを移動します。
- ▼: システム言語を確認して切り替えます。
- M: 前のメニューに戻ります。

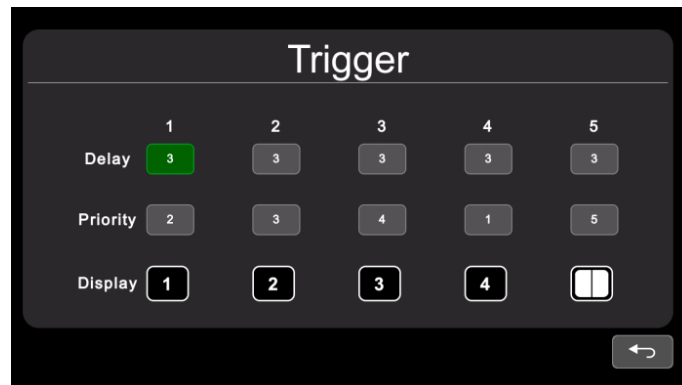


Pic.6.2.6.3

タッチの手順

- アイコンをタッチして、システム言語を切り替えます。

6.2.6.4 トリガー設定



Pic.6.2.6.4

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/-: カーソルを移動します。
- ▼: 編集メニューにします。
- M: 前のメニューに戻ります。

IR 手順:

- LANG: システム言語に切り替えます。

タッチ手順

- 「Delay」行(1~5)のいずれかにタッチして、デジタルボックスをアクティブにします。「Priority」行(1~5)のいずれかをタッチして、デジタル選択ボックスをアクティブにします。「Display」行(1~5)のいずれかをタッチしてインターフェースをアクティブにし、表示画像を選択します。

機能の説明:

- Delay(遅延): トリガー信号が消えた後のトリガー表示画像の持続時間は、0~60 秒です。
- Priority(優先度): トリガーの優先度の設定。優先度の高いトリガーは、優先度の低いトリガーを中断することができます。優先度の範囲は 1~5 です。数値が小さいほど、優先度が高くなります。
- Display(表示): 対応するトリガー表示画像の設定。

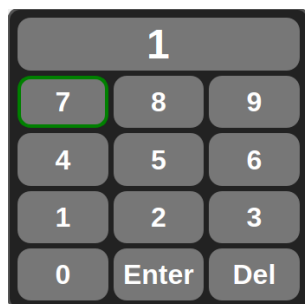
その他の手順:

- トリガー機能は、自動スキャン機能を中断することができます。
- トリガー信号を受信すると、モニターは自動的にトリガー表示画像に切り替わり、遅延時間後に自動的に前の状態に戻ります。
- スタンバイモードでのトリガー検出をサポートします。

6.2.6.4.1 入力パネル

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/ -: カーソルを移動します。
- ▼: アイコンを選択します。
- M: 保存せずに前のメニューに戻ります。



Pic.6.2.6.4.1

タッチの手順

- アイコンをタッチして、値を編集します。パネルを超えてタッチすると、設定は保存せずに前のメニューに戻ります。
- その他の手順:
- 60 より大きい場合、入力番号は 60 になります。
 - 入力: 入力を保存します。前のメニューに戻ると、「遅延」に入力した数字が保存されます。
 - Del: 番号を削除します。

6.2.6.4.2 優先

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/ -: カーソルを移動します。
- M: 前のメニューに戻って保存します。



Pic.6.2.6.4.2

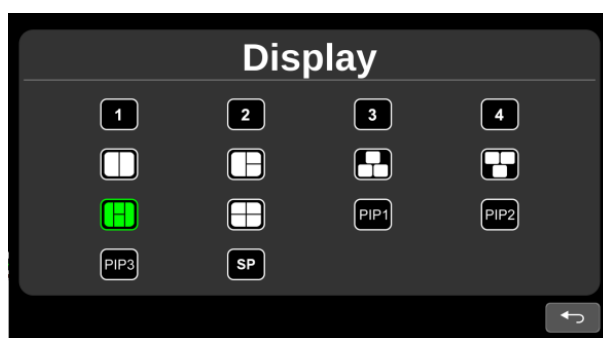
タッチの説明:

- 番号をタッチして選択します。フレーム外の場合をタッチして、前のメニューにを保存して戻ります。

6.2.6.4.3 ディスプレー

ボタンパネル説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/ -: カーソルを移動します。
- ▼/ M: 前のメニューに戻って保存します。



Pic.6.2.6.4.3

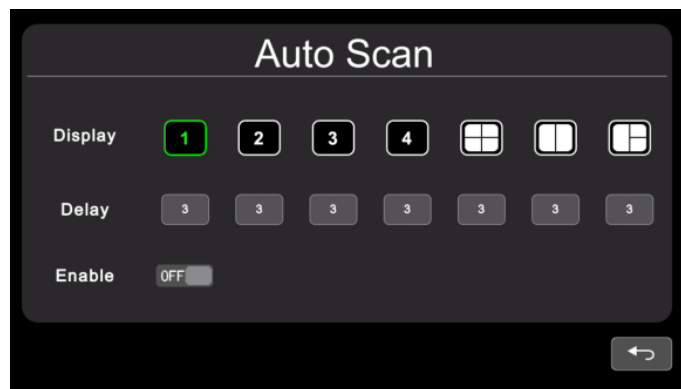
タッチの説明:

- [Back Arrow] をタッチして好みの画像アイコンを選択し、アイコンをタッチして前のメニューに戻ります。

6.2.6.5 自動スキャン設定

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/ -: カーソルを移動します。
- ▼: 編集メニューをそのままにするか、ON/OFF アイコンの状態に変更します。
- M: 前のメニューに戻ります。



Pic.6.2.6.5

タッチパネルの手順:

- “Delay”(遅延)行のいずれかにタッチして、デジタル入力ボックスをアクティブにします。 “Enable”(有効)をタッチして、自動スキャン機能を on/off にします。“Display”(表示)行のいずれかをタッチしてインターフェースをアクティブにし、表示画像を選択します。

IR 手順:

- LANG: システム言語に切り替えます。

機能の説明:

- ディスプレー: 自動スキャン時に優先表示画像を設定します。詳細は「6.2.6.4.3 ディスプレー」の部分をご参照ください。
- Delay(遅延): 0~60 秒の範囲で画像をスキャンする期間を設定します。特定のチャンネルの遅延が 0 に設定されている場合、自動スキャンは遅延が 0 秒より長い別のチャンネルにスキップします。「6.2.6.4.1 章、入力パネル」の部分と同じです。
- Enable(有効): 自動スキャン機能をオン/オフにします。

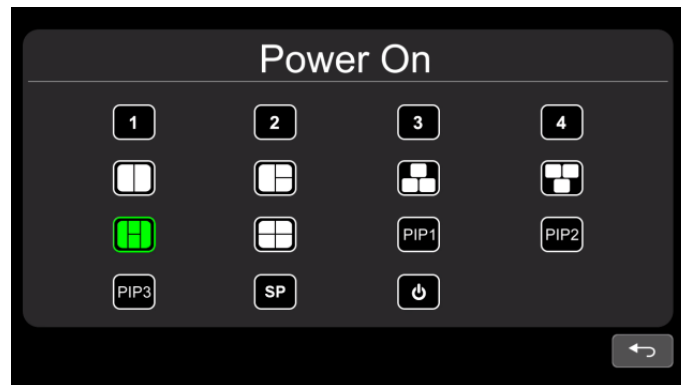
その他の手順:

- 自動スキャン中に Display(表示)または Delay(遅延)のパラメーターが変更された場合、それらは次のサイクルで有効になります。ユーザーは、自動スキャン機能をオフにしてから再度オンにすることで、パラメーターをすぐに検証することもできます。自動スキャンはトリガー機能により中断できます。

6.2.6.6 電源設定(Power On)

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/-: カーソルを移動して、選択したアイコンを強調表示します。
- ▼: 選択したアイコンを強調表示/キャンセルします。
- M: 前のメニューに戻って保存します。



Pic.6.2.6.6

タッチパネルの説明:

- アイコンが強調表示されていない場合は、タッチして強調表示するか、強調表示ステータスをキャンセルします。

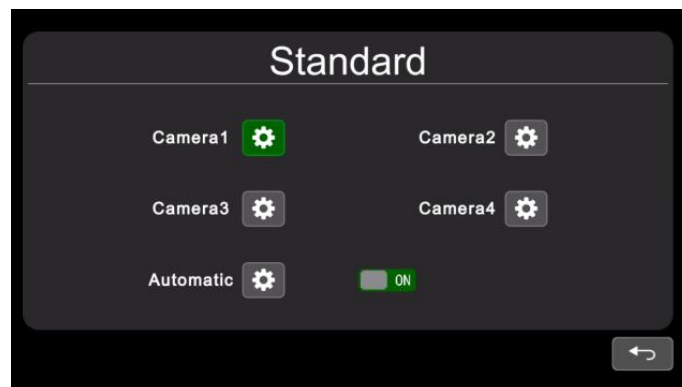
その他の手順

- 強調表示されているアイコンは、起動時、モニターの対応する表示画像です。最後のアイコン  が強調表示されると、モニターは電源を入れたら直接画面オフスタンバイモードになります。
- 緑色で強調表示されているアイコンがない場合は、自動的に LAST モードになります。つまり、電源を入れたときの表示画像は、前回電源を切ったときのモニター最後の画像になります。
- スタンバイアイコンが強調表示されている場合は、モニターには起動ロゴが表示され、スタンバイモードになります。

6.2.6.7 通常モード設定(Standard)

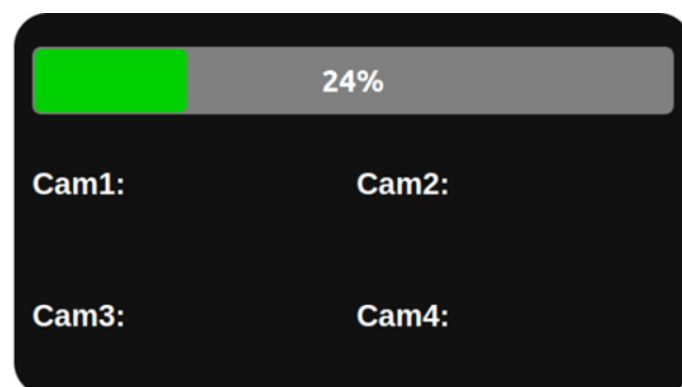
ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/ -: カーソルを移動します。
- ▼: アイコンを選択します。
- M: 前のメニューに戻ります。



Pic.6.2.6.7-1

自動がオンの場合、モニターは自動的に入力カメラに適合します。自動がオフの場合、モニターはユーザーが入力した設定で構成されます。ユーザーは、各チャンネルのアイコン  をタッチして対応するカメラの入力フォーマットを設定するか、自動をオンにして自動構成に入ることができます。自動設定が進行し、100%終了後に認識されたカメラの情報が表示されます。または、自動処理でカメラを認識できない場合、情報は空になります。



Pic.6.2.6.7-2

IR 手順:

- LANG: システム言語に切り替えます。
- Menu: 前のメニューに戻ります。自動インターフェースでプログレスバーが 100%に達した後、システムを終了できます。

その他の手順:

- 「自動」をオンにすると、HD モニターがカメラを自動的に表示するように調整されます。現時点では、カメラ 1～カメラ 4 のシステム設定と「自動」の自動設定は機能しません。
- 「自動」をオフにすると、HD モニターはカメラ 1～カメラ 4 のメニューの固定システム設定に反応します。これにより、ユーザーは「自動」メニューのアイコン  をタッチして各カメラの入力形式を手動で設定したり、自動構成したりできます。
- プログレスバーが 100%に達するまで、HD モニターはプレスまたはタッチ操作に応答しません。 100%終了した後にのみ、押すかタッチすることで終了できます。

6.2.6.7.1 フォーマットメニュー

IR またはボタンパネルを使用している間、操作には 2 つの選択フェーズが含まれます。

- フェーズ 1<タイプの選択>: PAL または NTSC が選択されている場合、システムはフェーズ 2 には入れません。
- フェーズ 2<解像度の選択>: ユーザーが標準(Standard)メニューからこのインターフェースに入ると、デフォルトでフェーズ 1 に入ります。

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/ -: カーソルを移動します。
- ▼: アイコンを選択します。フェーズ 1 で PAL または NTSC が選択されている場合、システムはフェーズ 2 に生えられません。。
- M: フェーズ 1 に入ると、前のメニューに戻ります。フェーズ 2 に入ると、フェーズ 1 に戻ります。。



Pic.6.2.6.7.1

タッチパネルの説明:

- TYPE で PAL または NTSC が選択されている場合、解像度の選択でタッチ操作が応答しません。

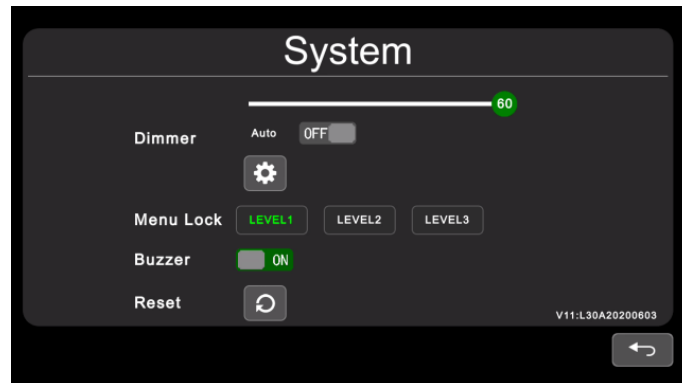
IR の手順:

- LANG: システム言語に切り替えます。

6.2.6.8 システム

ボタンパネルの説明

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/-: 機能を確認または設定します。
- ▼: カーソルを移動します。
- M: 前のメニューに戻ります。



Pic.6.2.6.8

タッチパネル手順:

- デイマーのスクロールバーをドラッグして、デイモードで画面のバックライトを調整します。調光器の自動がオンの場合、アイコン  をタッチすることでデイ/ナイトモードのバックライト調整にアクセスできます。

IR 手順:

- LANG: システム言語に切り替えます。

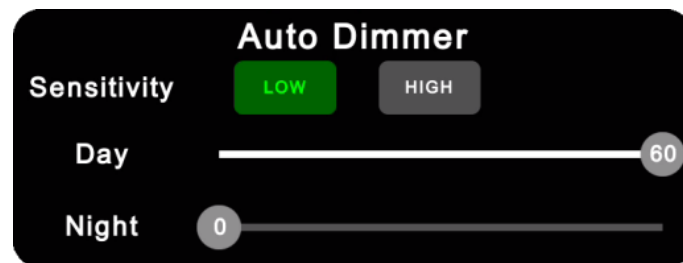
機能の説明:

- デイマー: スクロールバーは、デイモードでバックライトを調整します。自動デイマーがオンの場合、モニターは自動バックライト機能をオンにします。つまり、明るい環境では画面が明るくなります(デイモード)。デイモードまたはナイトモードのバックライトの程度は、メニューアイコン  から設定できます。
- メニューロック: ディスクトップ右端中央の M キーまたは IP リモコンのメニューボタンを 3 秒間長押し続けると、メニューロックとタッチ操作を有効/無効にできます。
- メニューロックには 3 つのレベルがあります。:
 - (1) レベル 1: すべてのボタンが応答しません。パワーオンメニューの設定がスタンバイモードになっている場合は、電源ボタンでシステムの電源を入れることができます。
 - (2) レベル 2: ボリューム+, またはボリューム - を除いてすべてのボタンが応答しません。
 - (3) レベル 3: ボタンパネルの M キー(モニター右端中央)と IR リモコンのメニューキーには反応しません。
- ブザー: オンの場合、ボタンを離すかタッチするとすぐにアラームが鳴ります。

6.2.6.8.1 自動ディマー

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/-: 機能を設定します。
- ▼: カーソルを移動します。
- M: 前のメニューに戻ります。



Pic.6.2.6.8.1

タッチパネル手順:

- 設定したアイコン (LOW/HIGH) をタッチして選択し、スクロールバーをドラッグして、対応するデイ/ナイトモードで画面のバックライトを調整します。

IR 手順:

- LANG: システム言語に切り替えます。

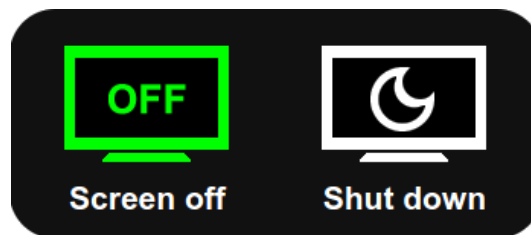
機能の説明:

- 感度: 自動バックライト感度。感度が低いほど、ナイトモードに切り替えるために必要な環境輝度は小さくなります。
- Day: デイモードの逆光度は常にナイトモードよりも高く、0 – 60 の範囲です。
- Night: ナイトモードの逆光度は、0 – 60 の範囲で常にデイモードよりも低くなります。

6.2.7 電源設定(Power off)

ボタンパネルの説明:

- 電源: スタンバイモードを開始/終了します。
- +/-: 機能を設定します。
- ▼: 確認
- M: 前のメニューに戻ります。



Pic.6.2.7

タッチパネル手順:

- タッチしてアイコンを選択します。

その他の手順:

- スクリーンオフは通常のスタンバイモードです。トリガー機能は引き続き動作しますが、モニターとカメラの電源を切るだけです。
- シャットダウンスタンバイモードは、スクリーンオフスタンバイモードと同じ機能を備えていますが、トリガー信号には応答しません。